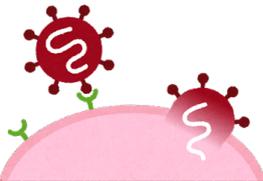
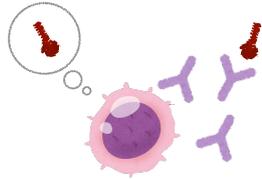


新型コロナウイルスワクチン基礎知識

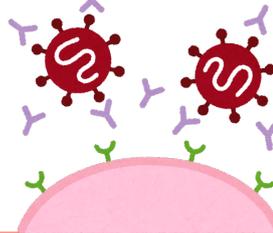
新型コロナウイルスの表面のスパイクタンパクが、ヒトの粘膜にあるレセプターにくっくと感染が成立します。



感染すると、免疫細胞がスパイクタンパクにくっつく抗体を産生します。



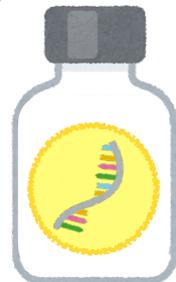
抗体は、レセプターにウイルスがくっつくのを妨害します。



抗体が十分にある = 免疫があるということです。感染や重症化が抑制されます。



ファイザー/モデルナ
ワクチンが動く仕組み



mRNAを保護する成分

mRNA

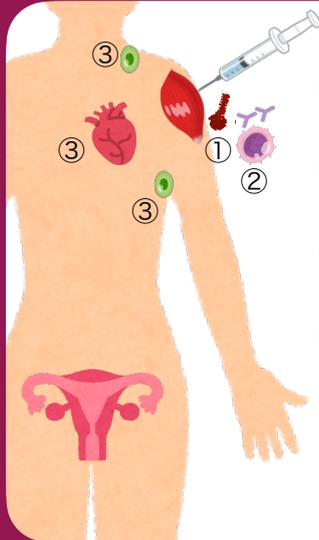
スパイクタンパク

免疫細胞が抗体を産生します。

ワクチンの成分はスパイクタンパクをヒトの身体の中で合成するmRNAです。

mRNAはタンパク合成後すぐに分解します。

ワクチン接種でおきること・おきる可能性のあること



- ① mRNAを保護する成分に対してアレルギーがある人は、注射によってこれに対するアレルギー反応がおきる可能性があります。
- ① ワクチンを打った部位とその付近でスパイクタンパクがつくられます。mRNAはすぐ分解されますが近くのリンパ節まで到達することはあります。
- ② 免疫細胞が活性化して抗体を産生する時、注射した筋肉に痛みが出る他に風邪の時のように発熱、頭痛、だるい感じがすることがあります。
- ③ 免疫細胞の活動に伴い、付近のリンパ節(脇の下・首)が反応性に腫れることがあります。ごくまれに軽い心筋炎が起こることがあります(主に若い男性)。

理論的に、ワクチン接種でおこりえないこと

皮膚に磁石がくっつく、マイクロチップが埋め込まれる、自分の遺伝子に組み込まれて遺伝子情報が書き換わる、卵巣に蓄積して不妊の原因になる等



ワクチンの仕組みを一つ一つ理解して、理論的に起こることと起こりえないことを、きちんと整理していきましょう！「デマ情報」はセンセーショナルだけに注目を浴びやすく、特に不安や不満が多い背景の中で、拡散して盛り上がりやすい傾向があります。さらに、最近のメディア、SNS、AI機能の発展により、これに拍車がかかる傾向があります。医師を名乗る人が「デマ情報」を流していることも…信頼できるかかりつけ医に、ご遠慮なくご相談ください！